

## 第7期 第3回武蔵野市図書館運営委員会 議事要録

日 時 平成28年3月28日（月） 17時30分開会 19時00閉会  
場 所 中央図書館3階視聴覚ホール  
出席者 委員8名  
船崎委員長、毛利委員長職務代理、伊野委員、桂委員、瀬戸委員、  
松山委員、柳田委員、山本委員  
事務局8名  
養田図書館長、奥野（公財）武蔵野生涯学習振興事業団派遣副参  
事、盛田課長補佐、秋庭係長、迫吉祥寺図書館長、川西課長補佐、  
森本課長補佐、小林主任  
傍 聴 なし

内 容 1 議事  
（1）前回議事録の確認について  
（2）図書館の運営について  
2 その他

### 【司会】

#### 1. 開会

定刻となったので開会する。

### 【図書館長】

今日、完成したばかりの調整計画の冊子を配っている。図書館について38ページに図書館サービスの充実として記載があり、また、施策体系図82P文化市民生活4においても3項目記載がある。

長期計画は市の基本計画であり、すべての計画はここを元としている。本日、来年度予算についても可決され、吉祥寺図書館リニューアルについても予算が付いた。

本日もよろしく願いしたい。

#### 2. 議事

### 【司会】

それでは、議事に入る。

委員長に進行をお願いする。

【委員長】

議題 1、前回議事録の確認について  
事務局から説明を。

★議題 1 前回議事録の確認について

【図書館長】

資料 1 をお願いしたい。  
事前に送付しているが、前回委員会の議論を取りまとめた。  
今回で、確認・承認をいただければ、終了後に公開したい。

【委員長】

本件について、質疑を行う。  
何かあったら意見、質問を。

(意見なし)

【委員長】

意見がないようなので、このまま協議内容として公開する。  
引き続き次の議題に移る。  
事務局より説明を。

★議題 2 「図書館基本計画後期中長期目標について」

【図書館長】

資料 2 をお願いしたい。  
本資料は、前回 1 月の委員会で議論いただいた図書館基本計画に  
基づいて実施する図書館事業の大きな方針・方向性を定め、本委員会等  
で進捗管理を行っていくため、中長期的な目標設定を行うものである。  
今回は前回委員会の議論を踏まえた修正案をお示しする。本目標に  
は今回の会議において固めたい。なお、前回案からほぼすべてに手を入  
れているため、説明する。  
基本的な考え方として前回議論を踏まえ、目標設定を行うべき、目標  
設定に馴染む項目であるかの視点から再検討を事務局内で行った後、具  
体的な到達点の設定や評価の可否について精査し、設定項目以外は粛々  
と事務方において事業を実施・管理すべき図書館の基本的機能維持の項  
目として「目標のスリム化」を行った。

1 公共施設を利用した図書館機能の充実は、ブックポストの設置、来館困難者に対するサービスの在り方検討報告を行う旨を目標として記載した。

2 既存施設の整備・改修は、特に吉祥寺図書館改修において利便性の向上、地域特性に応じた特徴ある図書館へのリニューアル推進、集密化工事完了による価値基準の転換から、除籍基準の見直しを目標として設定した。

3 業務システム再構築、貸出・閲覧サービスの利便性の向上、一般利用者向けサービスの充実は、吉祥寺図書館改修におけるデバイスの導入、新システム導入による支援策の増強、次期システムの選定について目標設定を行った。

4～6の利用者の安全性を高める施設の充実、個人情報とプライバシーの保護、危機管理体制の構築は、施設管理運営における基本事項であるため、目標設定項目から削除を行った。

7 職員の人材育成についても、組織の基本的事項であり目標設定項目から削除した。

8 施設の管理・運営形態はプレイスの実績を踏まえた吉祥寺図書館への指定管理者制度の導入について、計画年度内に決定を行う件、また、計画等に基づく施策の着実な実施のため、方向性決定ののち、吉祥寺図書館に関する新たな管理運営方針の整備や、定期的な指定管理者への管理運営方針の見直しについて目標設定を行った。

9 評価システムの構築はすでに確立・運用されているため、これまでの流れのまま進めていくことから目標設定からは削除とした。

10 施設の管理・運営形態は調整計画記載事項で、今計画期間中に一定の方向性を定め、関連計画とも整合する形で吉祥寺図書館の改修を推進していく。

11 多様な情報資料の蓄積は3点掲げ、主に吉祥寺図書館で想定する地域特性を生かした蔵書充実（ハイパーローカル情報の整備）、再掲になりますが、除籍基準の見直し、電子書籍導入の準備作業への着手を具体的目標とした。

12 市民や地域の蔵書の有効活用と資料のリサイクルは、取組みは自治体として当然の責務であることから、目標管理項目からは削除とした。

13 市民との協働はこれまでの障害者サービスに関する協働事業をマルチメディアデイジーの展開としてサービス拡大を図ること、また、他分野におけるサービスの拡大としてブックスタートへのボランティア導入を進める。

14 他の図書館施設、行政部局との連携・協力、15 その他の機関との連携協力は、前期より既に一定程度機能しており削除とした。

16 学校との連携協力は、これまで同様学校（図書室サポーター）との協議を継続し、つながりの確保を図るとともに、システム選定について、学校図書システムと連携可能なシステムの選定を行った。体制の整備については今後検討の上、整えていく。

17 貸出・閲覧サービスの利便性の向上は、利便性向上のため主として吉祥寺図書館に新たなデバイスを導入する。その他、閲覧席数の増や、香り、音などに関する閲覧環境の向上についてモデル的導入を目指す。

18 本に親しめる環境の整備は図書館本来の機能であり、これまでの路線から転換するものではないので、目標管理項目からは削除した。

19 市民活動支援機能の充実は前期評価でも論点となり、既に一定程度機能しており、削除とした。

20 レファレンスサービスの充実、学びを支える情報の収集、提供、発信は一体で扱うべき項目として統合した。レファレンスサービスの浸透には課題があり、課題解決のための取組みを行う必要がある。また、検索性向上の取組みとして新システムにおける検索機能強化の取組みを掲げた。

21 課題解決の支援は重要課題である課題解決支援を進めるため、パスファインダーの提供を継続して実施するとともに、吉祥寺図書館に関しては報告書にも記載のとおり、ビジネス支援等のレフェラルサービスの展開を新たに図っていく。

22 児童サービスの充実、ヤングアダルト向けサービスの充実は・ブックスタート事業の継続及び実施運営体制の強化としてボランティアの導入を行う。また、ヤングアダルトの強化として主に吉祥寺図書館改修において適切なゾーニング、資料の配置による効果アップを図る。

23 シニア利用者に対するサービス、来館、利用困難者に対する利便性の向上はこれまでの取り組みに併せ、吉祥寺図書館をモデルとしてボランティア活動の場としての取り組みを試行する。

24 来館、利用困難者に対する利便性向上はオリパラにこだわらず課題に対応する必要があることから、文言としては削除し、法への対応として改修時のバリアフリーへの配慮やサインの設置、来館困難者・外国人にも分かりやすいサイン・パンフレットの作成、検索機（OPAC）での対応等を想定した目標とした。

説明は以上である。

【委員長】

本件について、質疑を行う。  
何かあったら意見、質問を。

【委員長】

削除になったところは項目自体がなくなるのか？

【図書館長】

その通りである。

【委員】

全体的に削除が多く入って驚いている。説明を聞くともっともと思うところもある。

7の人材育成について、研修効果は文科省の定める望ましい基準に入っている。目標設定においては望ましい基準を考慮する観点が良いと思うので少し残念である。研修は工夫次第でいろいろ企画ができる。図書館情報学は日進月歩であり、外部情報を内部情報に還元していくことを考えると、いつの間にか停滞していくことが怖い。図書館法にも新しく研修の強化が謳われているので、入れておいてほしいと思う。

14の他の図書館・行政部局との連携協力で、図書館だけでは賄いきれないサービスについて、望ましい基準において大学図書館との連携強化が挙げられている。公共図書館ではこの動きがあり、弱い専門書の部分を連携で強化することがあるので、落としてほしくない。最近図書館間で協定を結び、本を借りられるようなところもある。削除についてはどうか。

15のその他の期間との連携について、商工会議所のイメージが強く仕方なかったかと思うが、以前の議論で商店街との連携など吉祥寺図書館の地域特性を活かすということがあった。その他の機関に商店街も含み、ビジネス支援ということで少しもったいないかと思う。

18の本に興味を持てるイベントの実施について、調整計画に掲げる柱の1つとかかわると思う。調整計画とかかわりながら目標が無いのはどうなのか。公共図書館の動きを見ていると、読書カードの作成、お泊り体験などのイベントなど力を入れており、図書館へ親しんでもらうというところに取り組んでいる。粛々と、ということもあるが、目標として取り組んでもよいのではないか。

【図書館長】

職員の人材育成については人材育成計画に基づき毎年研修計画を立てて行っている。それは当然進めていくべきものだが、客観的な目標として立てづらいというところはあると思う。

【委員】

研修に関してお願いがある。学生時代は図書館利用は楽だったが、子持ちだと困難であるとわかった。研修の中に利用困難者に成り代わって体験してみるというものをに入れてみてほしい。子連れでの利用の大変さを人材育成計画にも反映してほしい。

また、視覚障害の方はどれだけ大変かというところも一度経験してもらい、どういうサービスを提供していけばよいかのヒントになるのではないかな。目標として新しい研修を加えるなどを客観的な評価として考えてもよいのではないかな。

【委員】

いろいろなことができると思う。

研修の強化と文科省が言っているのに応えてもよいのではないかな。もう少しいろいろな工夫をされてもよいと思う。

指定管理になると専任職員の役割も大きくなっていく。例えば法律情報支援と言っても、全体の知識がないと使いこなせない。知識の研修が必要である。あるいは選書基準の見直しについてもやっているが、選書・廃棄の時にも係を決めて組織の中で内部研修の1つとしての組み込みをしていく。専任職員のレベルアップとして、いろいろなことができるはずである。サブジェクト的なものに強い職員を作るというのを目標としてもよい。そのような研修を組めるはずである。

【委員】

1つは新しいものがほしい。

【委員】

削除の経緯はどのようなものか。もったいないという感覚である。図書館側から見て削除、ということになっていると思うが、人材育成のところでも計画があるので、削除だと進捗も分からなくなる。計画があるということもPRになる。また、いつもやっているというのは組織の中の話なので、長期の中できちんとやっていく、というところは残してもよいのでは

ないか。書き方や内容をどうするかというのはあるが。そのようなものも意見が出たところであると思う。削除となると、このような項目がどうなっていくのかが見えていない。

**【委員長】**

図書館側としては、すでに計画立てられているので、基本的にそれに沿って実施しているだけ、という感覚と思うが。

**【図書館長】**

説明した基本的と思われる項目については、そのとおりである。現状に加えて新しいものを設定することができるか、というところはある。

**【委員】**

対応できる回数は決まっている。内容的なものはどうかということが出てきたと思う。社会変化に伴い課題がどんどん出てくるので、内容的な工夫をしていく、ということではよいのではないか。

**【委員】**

前回で目標設定するなら最終目標としての形を見せなければならない、という議論があったところから、削除という流れになったのではないかと思う。基本的なもの、レファレンスなど目標設定ができないものも消えているが、数値化できない目標もあっていい。民間なら目標に向かってというところが強いが、公共サービスなのでそこまで書かなくても大事なものは残しておいてよい。やらなくてはならないことは出しておくことは必要である。

**【委員】**

前回議論において中長期目標は抽象的、年次目標は具体的という分けと理解した。この考えで行くと、年次目標にもそれぞれの項目が出てこないこととなる。削除でよいものもあるが、残しておいたほうがよいものについてはここで挙げておいたほうがよい。

**【委員長】**

7 職員の人材育成についてはいろいろご意見が出た。議論を踏まえて検討を。

**【図書館長】**

記載の仕方について検討したい。

**【委員】**

研修の内容について充実する、ということでよいのではないか。

**【図書館長】**

14について現在でも成蹊大学との協定を締結している。市内大学は市民は使える状態にある。

**【委員】**

連携強化は望ましい基準にも謳われているので、残したほうがよい。

**【委員】**

武蔵野市に専門図書館はあるのか。

**【委員長】**

専門図書館はない。大学の図書館となる。

**【委員】**

吉祥寺図書館に関して言えば、近くに本町コミセンがあるのですみ分けをしたほうがよい。アンケートにあったwifiやBGMなどは本町コミセンで実施というのでもよいのではないか。図書館で提供しなくても本町コミセンであるとか、地理的に近いところで使い分けるのも手だと思う。

**【図書館長】**

本町コミセンは今後建て替え計画があるので、連携を図れるところがあると思う。

**【委員】**

すべてを図書館が担うのではなく、賄いきれないものについては相互補完として地理的に近いところはすみ分けを考えてもよい。

**【事務局】**

アンケートを作りこむ際に、新たに欲しい設備などは考慮しており、エリア的・面的な活用という視点についても回答にあった。部局間で調整し



ながらたとえば新聞雑誌などは本町コミセンのロビーなどとのすみ分けについて、人の流れを考えながらエリアの中で機能するよう検討したい。

**【委員】**

庁内連携についても削除となると報告もなくなるので、やっているのかさえ分からなくなる。また、報告からの次の目標設定への展開も重要ではないか。商店街への展開もあるので、14、15の連携協力は残してほしいが。会議の議論によっては可能なのか。

**【図書館長】**

可能である。

**【委員長】**

抽象的ということで削除となった経緯もあると思うが、目標としては設定し、単年度目標で具体化したものを記載してもよいのではないか。委員会として削除は残念だという流れである。

**【委員】**

大学図書館の連携の中で、情報リテラシー教育を行っている。

公共図書館にも働きかけて参加を募るなどもしていて、一般の市民も参加ができる場合や、公共図書館の職員が参加するなどいろいろやり方があり、相乗効果もある。参考としてほしい。

また、15は吉祥寺図書館でのビジョンに絡むものである。吉祥寺図書館のビジネス支援をどうするかという点もあり、ビジネス支援の充実、などでもよいのではないか。

**【委員】**

14、15を一つにしてもよいのではないか。

**【委員】**

図書館だけでは賄いきれないサービスについて連携、という共通事項がある。

**【図書館長】**

統合する方向で整理する。

**【事務局】**

統合して整理する方向性はいいと思うが、具体的な到達点が定めづらい  
ため、抽象的な表現とせざるを得ない点をご理解いただきたい。

**【委員】**

中長期目標と年度目標の関係からも、一緒にしたほうが図書館としても  
やりやすいのではないか。

**【委員】**

同じような点で 18 と 22 も重なっているように思う。

18 はイベントを年何回やったというところでもよいのではないか

**【委員】**

22 を残して 18 を吸収ということでもよいのではないか。

**【委員】**

22 だけだと児童とヤングアダルトのみになってしまう。18 には一般が  
含まれているので。イベントの実施という視点で整理したほうがよいので  
はないか。

**【委員】**

削るということではなく、22 を充実させた上で 1 つに統合するという  
イメージでどうか。

**【委員長】**

18 と 22 はいずれにせよ内容が重なっていると思う。

**【図書館長】**

児童サービスはきちっと立てなければいけない。18 が想定しているの  
は例えば大人にはビブリオバトルなど、それぞれのイベントの開催などを  
イメージしている。

**【委員】**

18 はすべてを対象としているが、22 は利用者別の支援で、視点が異な  
るので重ならないよう文言を工夫し、それぞれを残したほうがよいので  
はないか。

【委員】

18 は対象者を絞らず本に親しめる環境の整備として関連施策を整理し、児童サービス等は 22 以降に任せたほうがよいのではないかと。

一般利用者に関する課題は無いのではないかと。

【図書館長】

18 はどちらかというとなら 17 に近い。17 は自動貸出機等のデバイスによる利便性の向上を指している。利便性の向上や閲覧環境の向上が関係した課題である。楽しげなイベントをやるなど、対象を絞らずすべての人を対象として。

【委員長】

22 以降は利用者別として、18 は全体に係るものとして整理するのがよい。

【委員】

年齢に関係なく、テーマ別展示を毎年何回やるとかでもよいのでは。

【委員】

武蔵野は文学者が多いので、命日にイベントをやるとか。昔の絶版になっているような本が出てくるとよい。

【委員】

17 と合わせられないかと思った。17 は席数の増などハード的な部分だが、ともに閲覧環境の向上という共通点がある。

【委員】

17 は席数の増などハード面で 18 はソフト面では。

【委員】

これまで、18 でテーマ展示を報告していたと思う。ハードソフトの分けてよいのではないかと。何回やっただけでも報告があったほうが。

【委員】

今、図書館はこういうことをやっているとなら、テーマ展示はいろいろアピールできるところである。

【委員長】

17、18 ともに残すということで。

【図書館長】

表記について検討する。

【委員】

4 は残してほしい。

吉祥寺図書館に「私の体だから触らないで、ちゃんと言って」という表示が2階への階段にある。変質者対策の表示であると思うが、安全性の確保は目標として落としてほしくない。例えばリニューアル時に防犯カメラを設置するとか考えてほしい。

【図書館長】

前期期間中に吉祥寺では4台を17台と大幅に防犯カメラを増やしている。

【委員】

引き続き、ということでもよいと思う。巡回の回数を増やすなどチェックポイントとして、残してほしい。

【委員】

削除の理由がこれ以上増やせないのではというのは理由にならない。継続でも目標でよい。1年ごとに吟味される状態にあるということが大事であるのではないか。当たり前に行っていることなのでそうはならないと思うが、フェードアウトしても外に出ない、となっても分からなくなってしまう。回数を増やすということだけではないと思う。

【委員長】

重要な事項については継続でも目標としておくべき、というのが大勢の意見だと思う

【委員】

19 市民活動支援の充実は、説明では機能しているということだったが、本当に機能しているのか。機能している事例を教えてほしい。13 も関連する項目であるが、連携の一環として残してもよいのではないか。

**【委員長】**

プレイスの市民活動支援の事例を指しているのではないか。

**【プレイス副館長】**

プレイスでそのようなコーナーを持ち、情報提供している。機能連携の一環として、プレイスの映画会でも内容に関わる市民団体の紹介を行うなど、機能の連携を進めている。各種団体がイベントを実施する際に合わせて本の紹介を行うということもしている。

**【委員】**

プレイスの実績は分かったが、中長期で出すレベルということではないということか。

**【委員長】**

主として行っているプレイスでの集約ということもあるかもしれない。

**【図書館長】**

プレイスが市民活動機能を持っているが、前期の評価の議論でもあった市民活動についての所管が違うという点で、目標設定が難しい。

**【委員】**

削除でよい。

**【委員】**

16 学校連携について具体的に記載があるが、新システムに更新されて学校図書システムとつながったということについて詳しく。関係部署とは具体的にどことなるか。

**【図書館長】**

28 年当初から導入した新システムでは学校連携が可能なシステムとなった。ただ、学校図書館を所管するのは指導課で、今夏システムが切れる学校図書システムについて1年再リリースで対応するようだが、連携の話し合い次第では29年度に連携が可能になると考えている。図書館としてはそうしたいと思っている。システムを変更するのは大変なのでうまく話を進められるか、努力が必要と思う。

【委員長】

いろいろ意見が出た。

スケジュールの関係でこれから調整を、となるとさらに時間がかかるため、本計画の取りまとめは委員長預かりとしたいが。

(異論なし。)

【委員長】

そのように取り扱うこととする。

報告事項に移る。

【図書館長】

資料 3-1、3-2 をお願いしたい。

前回は報告したが、吉祥寺図書館の改修計画について経過を報告する。

昨年まとめた吉祥寺図書館の在り方検討報告について、来年度予算に吉祥寺図書館リニューアル計画として予算要求を行うとともに、ニーズの把握等を目的として吉祥寺図書館のあり方について市民意見の聴取を行った。これは前回委員会でも情報提供をさせて頂いているところである。来年度予算については先日市議会で可決され、今後基本設計的な部分に着手をしていく。

さて、今回の市民意見の聴取方法について、方式はアンケートで、3月1日から15日の半月間、吉祥寺図書館でアンケート票(資料3-2)を直接配布するとともに、ホームページにも掲載し、直接来館される方以外の意見も聴取できる方式とした。回答内容については現在精査を行っており、速報値として合計約300件の回答があった。内訳は吉祥寺図書館での提出が約280件、ホームページ経由の提出が19件であった。結果については集計、分析が終わり次第、後日、改めて報告する。

説明は以上である。

【委員長】

本件について、質問はあるか。

(質問なし。)

続いてその他について。

事務局から何かあるか。

### 3. その他

#### 【事務局】

次回日程についてお諮りしたい。

中長期目標について、委員長説明のとおりまとめ、後日ご案内させていただく。早々に 28 年度となるため、次回委員会では本日議論いただいた大枠の中での 28 年度の単年度目標案を提示したい。

次回日程について、例年のスケジュールから 5 月末から 6 月初旬を予定させていただきたいが、可能であれば日程調整をお願いしたい。また、開始の時間等も変更があればご議論いただければと思う。

#### 【委員長】

今回は 5 月 30 日、17 時半より開催する。

その他意見・質問はあるか。

(特になし)

### 4. 閉会

#### 【司会】

以上で第 3 回図書館運営委員会を閉会する。